

事業計画書

令和7年1月1日から令和7年12月31日まで

特定非営利活動法人隠岐しぜんむら

1 事業実施の方針

地域に密着した自然を通じた諸活動を行うことで、最終的に地域資源である自然も保全されるための活動を目指します。

① 自然環境保全事業

観光関係者、環境省、ジオパークなどが隠岐への観光客誘致活動が本格化し、昨年より島内への来島者数も増加してきた手ごたえが感じられるようになってきました。それに対応しガイド等の需要も拡大している背景の中、活用と保全のバランスとして重要な地域資源である自然環境や動植物をどのように保全していくかの計画をしっかりと整えていくことが最重要な課題となっております。そのためには、その現状を把握するための十分な調査が必須であり、その結果から保全すべき個体及びエリアを洗い出す作業の担い手として当団体は活動していく計画です。環境省、隠岐ジオパーク推進機構、各野生生物研究所、地元行政などとの連携を密にしながら、課題の提案を積極的に行っていく必要があると考えております。具体的な取り組みとして、次の6項目を今年度の重点実施計画としております。

- (1) 渡りをする鳥類の中継地としての鳥相の調査を海士町金光寺山を中心に実施します。また、島根県の鳥類目録作成のための隠岐地域の調査も継続して実施します。
- (2) 竹の放置による竹害が顕著になってきており、広葉樹林への侵入による森林被害が随所に見られるようになってきました。当団体では以前よりこの対策を練ってきており、イベント等を通して竹を使った体験を行ってきました。しかし、このような企画は地域への啓蒙としての取り組みになっておりますが抜本的な対策にはなっておりません。そこで、今年度より新たな取り組みとして竹林を広葉樹林に転換する活動を実施していきます。広葉樹の植林を行うにあたり希少鳥類カラスバトの保全にもつなげるために、繁殖期の餌として好まれるタブノキを中心に植栽していく計画です。この活動には、島体験生やJICAなど研修事業を中心として地域住民を巻き込むことで、地域の保全に対する理解を進める啓発活動にもつなげていきます。
- (3) 地域自然環境の保全を目的として、環境省自然環境保全地域（自然共生サイト）の認定地を目指します。その第一歩として、前年度より申請書の作成に着手している諏訪湾地区の登録を目指します。自然共生サイトの登録地として島根県は皆無であることから、県内第一号としてのアピール効果も見据えているところです。また、環境省や隠岐ジオパーク推進機構と連携を行い、2か所目、3か所目の目標地域を定め、登録に向けたビジョンの策定にも着手します。
- (4) 当団体が運営にかかわるEntô ジオラウンジにおいての企画展を、今年度も引き続き当団体の学芸員を中心に企画運営していきます。地域の自然保全につなげていけるような内容とし、地域住民がより親しみやすい工夫もちりばめていけるように考慮したものとしていきます。
- (5) 環境省のモニタリング1000の隠岐地域海洋エリアの調査を実施します。オオミズナギドリが繁殖している5つの無人島において繁殖状況の把握を行います。

- (6) 道路の開発工事に伴う環境アセスメントを海士町及び西ノ島町にて実施します。対象としては植物及び希少鳥類の繁殖を行う計画です。
- (7) 天然記念物の無人島星神島で繁殖するカンムリウミスズメ、ヒメクロウミツバメ、オオミズナギドリをはじめとする希少海洋性鳥類を保全するため、環境省との連携によるドブネズミの駆除対策事業を継続し、地域の生態系保全に尽力します。

② エコツーリズム事業

新型コロナウイルスの影響は軽減されており、今後は観光客の増加が見込まれます。そのため、観光地域づくりを行う一般社団法人隠岐ジオパーク推進機構、各島の観光協会、旅行業者と協働し、受け入れ態勢の強化を図ります。特にホテル Entô からのお客様が多いため、ガイドスケジュールの共有や Entô のお客様向けプランの作成を通じて、お客様のニーズに対応できる体制を構築していきます。インバウンド需要も高まっていることから、言語能力はもちろん、インバウンド対応の質の向上も目指します。今後はサステナブルツーリズムを意識し、地域の人々の生活や自然環境を保全しながら、観光業を活性化するツアーの作成を目指していきます。

③ 環境教育事業

幼児期から高校生までの子どもに環境教育を推進していくために以下の5つの活動を行っていきます。

(1) 自然保育の推進

未就学児向け自然体験活動「お山の教室」は認可外保育園施設となってから7年目を迎え、地域に根付いた取り組みとして定着し、定員に対し申し込み数が多い状態です。活動が安定的に継続していくための財源確保に向けて、一昨年から教育委員会と協議を進めてきた『地方裁量型認定子ども園』の移行については、令和4年・5年の町内の出生数が一桁であることから、現時点では町内で認可保育園を2園維持することが難しいという考えで、海士町と教育委員会より延期の通達がありました。財源確保は海士町より保証があり令和7年度から3年間は委託事業として継続予定です。しかしながら、いつでも認可保育園施設に移行できるように、改修工事の予算もとれていることから今年度改修予定です。更に、保育園を継続していくために、出生数が少ない令和4・5年生まれの幼児の親子移住を海士町と推進していく予定です。また、昨年度も西ノ島町のみた保育園の遠足や日常の保育活動に自然体験指導者として参加し、山歩きをしながら自然観察や草花遊びをするなどの活動をしました。今年度も継続的にみた保育園の保育活動に参加すると共に保育者同士の学びの機会を作るなど発展させ、自然保育を更に推進していきます。

(2) 学校との連携

島前の小中学校の授業において、島根県の「県民参加の森づくり事業（みーもスクール）」を平成27年度（2015年）より活用し、島前・海士町内の森林を通して人と自然環境の関係性を伝えていきます。また、大地の成り立ち、独自の生態系、人の営みをジオパークの出前授業で学ぶことで、他地域と異なっている地域の個性について学習し、郷土愛が育まれるように努めていきます。

(3) 自然体験活動

隠岐の豊かな自然環境を活用し、自然体験活動を通して自然に親しみ、その不思議さや多様な生命に触れながら学習する活動を行っていきます。

今年度は昨年に引き続き海士町の小学生を対象として1泊2日の体験活動を予定しています。漂着ゴミや放置竹林といった隠岐の環境問題や保全についても触れ、自分たちの地域について体感的に学べるように計画していきます。

(4) 大人の島留学研修

昨年、島前魅力化財団から委託を受け、1年間島で働きながら暮らす大人の島留学生60名のうち30名に対し地域探究コースとして地域の自然環境や環境的な課題について学ぶ研修を行いました。今年度も引き続き研修内容をブラッシュアップさせ、地域貢献に寄与します。

(5) 教育旅行向け環境教育プログラム開発

近年、海士町では県外高校生の修学旅行を受け入れや、隠岐ジオパーク推進機構でも教育旅行誘致の動きがあります。一昨年度も新潟の高校生約60名に対してSDGsの視点を踏まえたジオパーク学習プログラムを行いました。最近の動向として修学旅行は体験して楽しむことだけでなく、体験から学ぶという学習のニーズが高まっています。このような背景の中、学校のニーズに合わせてSDGs学習プログラムを実施すると共に更に学習効果を上げるためにプログラム内容をブラッシュアップさせていきます。

④ 都市農村交流事業

島外者と島民との交流の場として、海士町の研修施設である都市農村交流センターの指定管理の継続を行います。

宿泊について、高校や大学の教育的な目的の合宿等学生の来島者の受け入れを中心に推進します。さらに、地域資源発掘のための少人数の鳥類・陸産貝類・昆虫類などの研究者および調査員の受け入れも行い、当団体や地域住民との交流にも力を入れます。また、島内在住者への施設利用促進としては、前年に引き続き未就学児対象の森のようちえん開催による地域住民の交流の場や、地元の小中学生・高校生の自然体験等、環境教育及びジオパーク学習の学びのための施設として積極的な活用策を推進していきます。

⑤ 地域住民生活支援事業

地域生活環境対策として野良猫避妊手術支援活動を行っていきます。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載 した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の 実施予定日時 (B)当該事業の 実施予定場所 (C)従事者の 予定人数	(D)受益対象 者の範囲 (E)予定人数	収支予算書 の事業費の 金額(単位: 千円)
自然環境保 全事業	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の野生生物調査活動 ・自然環境保全活動 ・公共事業における助言、調査 	(A) 通年 (B) 隠岐郡内 (C) 4人	(D) 隠岐郡の 住民 (E) 5,000人	3,900
エコツーリ ズム事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ジオラウンジガイド運営 ・エコツアーガイドの実施 ・エコツアーガイドの育成 ・地域の観光資源開拓 ・地域の観光推進への助言、補助 	(A) 通年 (B) 隠岐郡内 (C) 4人	(D) 隠岐郡内 の観光関 係者や商 店等、来 島者 (E) 1,000人	6,950
環境教育 事業	<ul style="list-style-type: none"> ・地域未就学児自然体験 ・島外小学生対象自然学校開催 ・島内保小中高校環境教育講師 ・学生、企業、公務員等社会人対象自然環境研修の講師及び助言、補助 	(A) 通年 (B) 隠岐郡内 (C) 12人	(D) 全国 (E) 1,000人	29,600
都市農村交 流事業	<ul style="list-style-type: none"> ・島内者と島外者の交流活動の企画立案 ・研修合宿者の受け入れ 	(A) 通年 (B) 隠岐郡海士町 (C) 4人	(D) 全国から 海士町を 訪れる島 外者 (E) 100人	4,400
地域住民生 活支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ・地域自然災害時の支援活動 	(A) 野良猫対策支 援活動 (B) 隠岐郡海士町 (C) 1人	(D) 海士町内 住民 (E) 20人	0